

牧師室から (2021. 2.14)

当教会の道路沿いに新しい掲示板が設置されて、教会の顔が少し変わった。バス停も近いので、バスからも掲示板が見えるようにとも配慮した。ふと思ったのが、掲示板の高さである。規格として、日本人の平均身長で立って見る目線の高さに合わせてあると思う。例えば、子どもなどと話す時には目線の高さを合わせて話すように心がけるといふ配慮もあるが、思ってみれば同じ世界でも目線の高さによって見え方は違って来るだろう。そして、その人の目線がどこに向かっているかによって、その人の人格や生き方を垣間見することもできる。

イエス様を誘惑した悪魔は、イエスを非常に高い山に連れて行き、世のすべての国々とその繁栄ぶりを見せて、「もし、ひれ伏してわたしを拝むなら、これをみんな与えよう」と言った。高い所から遠く、広く見えたその世界は魅力あるものであったのに違いない。しかし、イエス様は「退け、サタン。『あなたの神である主を拝み、ただ主に仕えよ』」とおっしゃったのである。

罪人である私たちはその誘惑を退けることができなく、森羅万象を知り尽くし、世界を俯瞰しようという「ファウスト的」欲求に常に翻弄される。そして、所有しようとする。

主イエスは低い所、人間なら避けたいところに来られた。そして、主イエスは生涯低いところに留まり、そこから社会を見た。低いところからの目線こそ、主イエスの心を理解するのである。

「アンダースタンド」が「理解する」という意味であるのも少しは分かる気がする。

(鈴木淳一牧師)